

H25  
8月

みちづくりかわら版  
第95号

地域の夢と希望のみちづくり 平成25年7月24日発行

京都府道路公社建設事務所



## (仮称)野田川橋梁上部(その2)工事の工場検査が始まりました。

野田川橋梁上部(その2)工事は、開断面箱桁という形式の橋桁を架設します。全体で約1,100tの鋼材を使用することから、正しい材料の手配が出来ているか、また所定の強度があるかなどを工場で確認する必要があります。そこで6月下旬から7月上旬にかけて、全国の4箇所の工場に職員が出かけ確認作業をしてきました。

これにより、桁の製作に取りかかることができます。

なかなか形の見えてこない工事ですが、実際に現場が動き出すのは、橋桁架設の準備作業に着手する10月頃になる予定です。



### 材料検査

工場内で橋桁に必要な鋼板の寸法及び数量について確認している状況です。

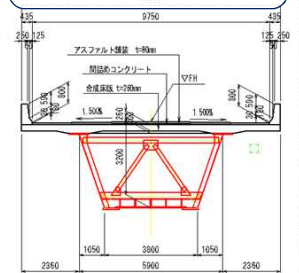
**強度試験**  
鋼材を試験機により破断や破壊するまで、引っ張ったり衝撃を与えたりして、所定の強度があるかを確認しました。



### 原寸検査

鋼板から桁の部材を切り出し加工する状況について、パソコン上で確認しています。

開断面箱桁の断面図です。赤い部分が橋桁の部材となるところで、今回この部分の検査を実施しました。



### 現在の施工状況

- ・(仮称)野田川橋梁 橋台・橋脚等の下部工と橋桁等の上部工工事を進めています。  
下部(その4)工事(P9・P10橋脚) 金下・田中・世紀JV: P10橋脚の鉄筋を組立えています。  
下部(その5)他工事(A2橋台他) 河守・世紀JV: A2橋台基礎工事(深礎杭)を進めています。  
上部(その1)工事(A1~P6) 宮地エンジニアリング(株): 工事がようやく完成しました。長い間ご迷惑をおかけしました。  
上部(その2)工事(P6~A2) 川田・宮地JV: 工場での製作準備を行っています。
- ・与謝天橋立IC消雪設備(その2)工事 森建設(株): 野田川の河川内工事は完成しました。間もなくポンプ設置工事を再開します。
- ・(仮称)第14トンネル工事 大林・公成・吉川JV: トンネルの掘削延長は683メートル、二次覆工は123メートルです。(7月20日現在) 府道大宮岩滝線横の山切工事は盆前に終わる予定です。

## 7月6日に石田谷遺跡の現地説明会が行われました。

与謝野町石田地区においては、昨年度から埋蔵文化財調査を行ってきましたが、7月6日には京都府埋蔵文化財調査研究センターによる現地説明会が開催されました。

弥生時代後期~古墳時代初頭の土器・鉄器や竪穴建物跡、奈良時代後半~平安時代前半の須恵器・土師器が多く出土しました。この調査により、石田地区には古くから集落があったことが新たにわかりました。



説明会の様子です!



現地から出土した遺物です!

裏面もご覧下さい。

# 工事状況 山陰近畿自動車道(野田川大宮道路)

工事に伴い振動・騒音等ご近所の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、出来るだけ低減に努めて参ります。  
安全を最優先に工事を進めますのでご理解、ご協力をお願いします。

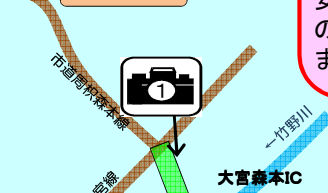


## 森本地区



府道からランプ橋を望む

## 森本工業団地



## 三重地区切土工事

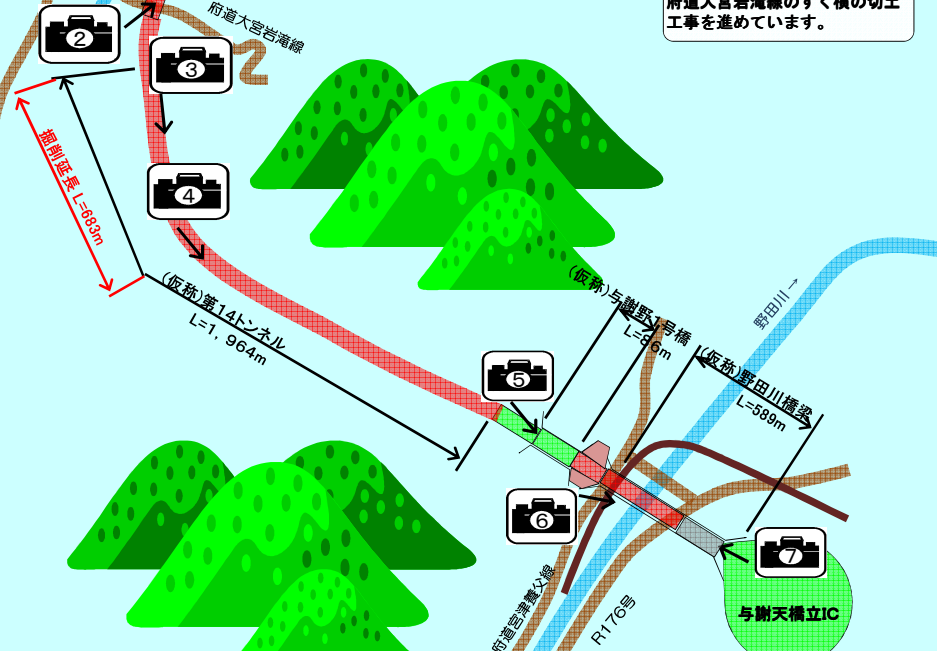


府道大宮岩滝線のすぐ横の切土工事を進めています。

## トンネル工事



最新の切羽（掘削最前面）の状況です。かなりしっかりした地盤になってきました。



## 野田川橋梁A2橋台



深礎杭の掘削状況です。深さが14.5m、直径が3mあります。波状鉄板の内部に鉄筋を組立てコンクリートを打設し杭をつくります。

## 野田川橋梁P10橋脚



締切矢板内で底版の鉄筋を組み立てています！

## 安全パトロール(7月10日)



現場の整理整頓、安全通路の設置状況、熱中症対策などをチェックしました

## 野田川橋梁 A1～P6



基層アスファルトを敷均して工事終了です！

凡例

完成箇所	■ (Grey)
施工中箇所	■ (Red)
未着手箇所	■ (Green)